

霞北水産だより

第63号

令和8年4月1日発行

【発行者】

霞ヶ浦北浦水産振興協議会

【事務局】

土浦市真鍋5丁目17番26号

TEL 029-822-7285

(茨城県霞ヶ浦北浦水産事務所内)



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

霞ヶ浦北浦水産振興協議会は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています



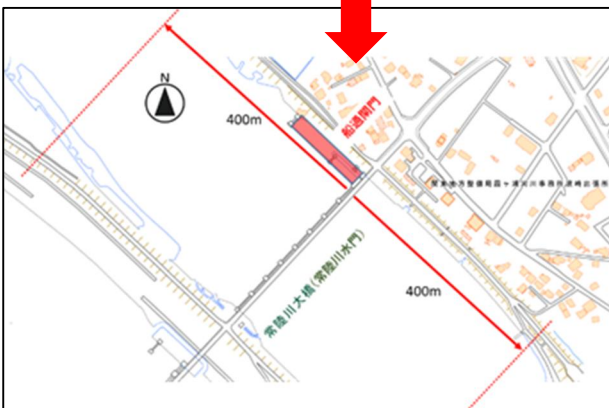
目次

この一年の話題	P. 2
令和7年7月～12月のトロール漁模様	P. 5
シラウオの産卵について	P. 6
霞ヶ浦北浦の漁業振興策について	P. 7
霞ヶ浦北浦海区漁業調整委員会・茨城県海面利用協議会	P. 8
受賞おめでとうございます!!～令和7年度茨城県水産製品品評会～	P. 8
気候変動に適応した霞ヶ浦北浦の漁業制度の改革	P. 10
【お知らせ】	
・有効期間満了に伴う知事許可漁業の申請手続について	P. 11
・漁船検認に関するお知らせ事項	P. 11
・水産物における放射性物質の検査結果等について	P. 12
・令和8年度 茨城県水産機関担当者一覧	P. 12

令和7年5月

シラスウナギ遡上拡大試験

霞ヶ浦北浦の生態系を構成するシラスウナギを始めとする通し回遊魚は、常陸川水門（常陸利根川と利根川の合流付近に建設された河川内構造物。）により霞ヶ浦北浦への遡上が阻害されている状況にあることから、茨城県では、これらの魚類を常陸川水門の上流へ遡上させる方法を検討するための基礎データを得ることを目的に、令和5年度から同水門に併設された「船通し閘門」において、シラスウナギを対象とした採集試験※を実施しています。



常陸川水門（茨城県神栖市太田地先）

令和7年度までの試験結果では、利根川河口を遡上してきたシラスウナギは5月になっても水門の下流側に滞留していて、船通し閘門を通じて遡上させることは可能であることが確認されました。

今後、県では、船通し閘門のゲート操作による、効率的なシラスウナギの遡上の可能性につ

いて、試験を実施する予定です。

※本試験は、国土交通省霞ヶ浦河川事務所、独立行政法人水資源機構利根川下流総合管理所及び常陸川漁業協同組合の協力のもとに実施されています。



船通し閘門における試験の様子（遡上確認）

令和7年6月

霞ヶ浦北浦水産振興協議会

第68回総会

6月24日に行方市の茨城県鹿行生涯学習センター〈レイクエコー〉にて、当協議会の令和7年度第68回通常総会を開催し、議案については、全て承認されました。

令和7年7月

トロール漁解禁

7月21日、霞ヶ浦北浦においてトロール漁が解禁となり、108隻（霞ヶ浦98隻、北浦10隻）が出漁しました。

漁業者の多くはシラウオ狙いで操業し、解禁日における一隻あたりの水揚量は、霞ヶ浦で平均71.1kg（前年40.7kg）、北浦で平均12.0kg（前年14.0kg）でした。解禁当初のシラウオの体長は、霞ヶ浦で約3.7cm（前年約3.8cm）と前年並みでしたが、漁師の方からは「シラウオは少し小さいかな。」とのコメントがありました。

令和7年11月

水産製品品評会開催

令和7年度茨城県水産製品品評会が11月12日、すいさん会館（水戸市三の丸）にて開催されました（茨城県水産物開発普及協会主催、茨城県後援）。この品評会は、本県水産加工業の発展と水産製品の品質向上を図るため毎年開催されているもので、霞ヶ浦北浦部門の出品数は200点でした。伝統的な佃煮が多く出品され、中でもワカサギ、シラウオ、エビを原料とした製品が多く見られました。なお、主要魚種の資源減少などを起因とし、他原料を使用した製品が増えていました。（8～9ページに詳細な記事が掲載されています。）

の期間に実施され、合わせて約5万粒が採卵されました。近年、霞ヶ浦北浦ともワカサギ資源が減少し、厳しい状況となっており、ワカサギ資源を守るため、漁業者による取組が毎年続けられています。



ワカサギ採捕禁止を知らせるリーフレット

令和8年1月～2月

漁業者によるルールの周知活動

（湖岸パトロール）

霞ヶ浦北浦では、産卵期のワカサギ親魚を保護するため、1月21日から2月末日までの期間は、漁獲や釣りによる採捕が禁止されています。当協議会では、こうしたルールを広く知っていただくため、霞ヶ浦漁業協同組合に依頼し、霞ヶ浦北浦湖岸での周知活動（湖岸パトロール）を実施してきました。令和7年度も、霞ヶ浦漁協の漁業者による船溜まりでのポスター掲示や遊漁者へのリーフレット配付が行われました。また、湖岸パトロールは、船溜まり等への見回りも行うため、船外機盗難防止にも役立っております。

令和8年1月

霞ヶ浦北浦の釣りのルール講習会の開催

1月31日、茨城県土浦合同庁舎において、遊漁者向けに「霞ヶ浦・北浦の釣りのルール講習会 ～マナーを守って楽しく安全に！～」が開催されました。

当日は、合計36名（会場参加18名、オンライン参加18名）の参加がありました。

講習会では、県から「遊漁トラブルの事例について」、「釣りのルールについて」、「陸上からの釣りの際に気をつけるポイント」などの説明が行われました。当日の配付資料は霞ヶ浦北浦水産事務所ホームページからご覧いただけます。

令和8年1月～令和8年3月

ワカサギ人工ふ化放流事業

霞ヶ浦北浦では、例年、ワカサギの産卵期に合わせて漁協が人工ふ化放流事業を実施しています。令和7年度は、霞ヶ浦漁協では1月20日～2月6日、麻生漁協では2月2日～2月6日



今後も、県は講習会などを通じて釣りのルールを周知し、漁業者や遊漁者などが安全に霞ヶ浦・北浦を利用できる環境づくりが進められます。

令和8年1月

シラスウナギ放流補助事業

近年の気候変動等に起因する霞ヶ浦北浦の漁業資源減少に対応した資源造成を目的として、高水温に強いウナギの種苗放流に関する県の補助事業が実施されました。

放流に用いられた種苗は利根川河口で漁獲されたシラスウナギで、放流量は18kg（霞ヶ浦北浦ともそれぞれ9kg）、尾数換算で90,000尾（1尾あたり0.2g）となっています。

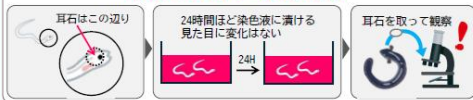
ウナギの頭の提供にご協力ください

ウナギの頭にある耳石（しせき）という組織を観察すると、放流したウナギの生き残り・成長などを把握することができます。調査のため、**ウナギの頭の提供**にご協力をお願いします。

耳石の観察で分かること

- 放流したウナギ？自然に遡上したウナギ？ 判別できます！
霞ヶ浦北浦に生息する由来が異なる3タイプのウナギを判別できます。
- ① 水産多面的機能発揮対策事業などで放流した稚ウナギ（養殖由来）
- ② 霞ヶ浦北浦ウナギ資源増大対策事業で標識放流したシラスウナギ
- ③ 自然に遡上したウナギ

放流シラスウナギへの標識と観察



■いつ放流したウナギ？ 年齢から推定できます！

耳石は日々成長し、木のように年輪ができることから、年齢を把握することができます。

養殖由来・シラスウナギともに生後1～2年のウナギが放流されていることから、年齢から逆算して、いつ放流したウナギか推定できます。

■どれくらい生き残っている？ 今後の研究課題です！

放流されたウナギのその後については、これまでほとんど情報がありません。

耳石の情報を用いて、新たな研究として取り組んでいきます。

ご協力いただける皆さまへ

頭だけを冷凍し、水産試験場または所属の漁協にご連絡ください。

！連絡先！ 茨城県水産試験場内水面支場 内水面資源部 0299-55-0324

放流効果検証の協力依頼チラシ

なお、今回放流されたうち10kgのシラスウナギには標識が施され、今後、放流効果を確認することになっていますので、うなぎ漁を操業されている漁業者の方は、ウナギの頭の提供にご協力をお願いいたします。

令和8年3月

第31回全国青年・女性漁業者交流大会開催・霞ヶ浦から県代表出場

3月5～6日にかけて、AP日本橋（東京都）で「第31回全国青年・女性漁業者交流大会」が開催されました。同大会は、全国の青年・女性漁業者が、日頃の研究・実践活動の成果を発表するとともに、参加者間の交流により知識や情報を共有・進化させることで、水産業・漁村の発展と活性化に資することを目的として、全国漁業協同組合連合会が開催しています。

今回は、茨城県代表として、霞ヶ浦漁業協同組合 霞ヶ浦地区定置漁業部会 部会長 皆藤勝氏が出場し、「ナマステ(ナマ捨て)、コップンカー(骨粉化)、食用化!!～アメリカナマズ活用の道のり～」について発表しました。

同発表は、在来種への食害が問題視されているアメリカナマズを、漁業者が積極的に駆除するための仕組みづくりや、食用として収益をあげる商品づくりなど、周囲を巻き込みながら対策を進める点が評価され、農林中央金庫理事長賞を受賞しました。審査員や参加者からは「ぜひアメリカナマズを食べてみたい!」「どこに行けば食べられるのか?」といった発言や質問があり、活発に意見交換が行われるなど、取組に対する関心の高さが伺えました。

これを機に、今後の霞ヶ浦産アメリカナマズ食用化のさらなる拡がりや食材としての認知度向上が期待されます。



全国大会発表風景

令和7年7月～12月のトロール漁模様

茨城県水産試験場

内水面支場

霞ヶ浦北浦の漁業者のトロール漁業の操業日誌や水揚の聞き取り情報を基に漁模様をまとめました。

1 霞ヶ浦

(1) ワカサギ

令和7年は前年に引き続き、解禁当初からワカサギはほとんど漁獲されず、漁期を通してワカサギを狙った操業は行われませんでした(図1(1))。

(2) シラウオ

ワカサギが不漁となったため、解禁日からシラウオを狙った操業となりました。シラウオ漁の1隻1時間当たりの平均漁獲量(CPUE:kg/時間・隻)は41.8~22.8kg/隻・時間で推移し、過去5カ年の平均と同等の値で推移しました(図1(2))。

(3) テナガエビ

テナガエビを狙った操業は8月中旬から始まり、最近では好漁であった令和5年に次ぐ漁獲となりました(図1(3))。

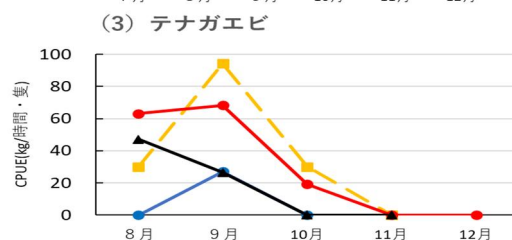
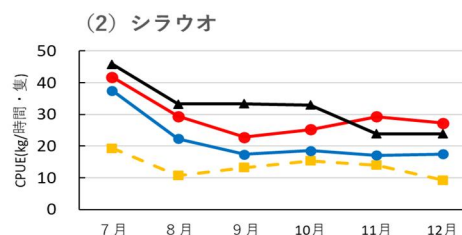
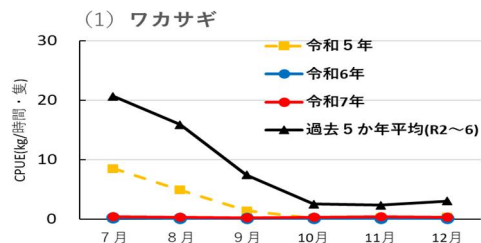


図1 霞ヶ浦における単位漁獲努力量あたり漁獲量

2 北浦

令和元年以降、主要3魚種の漁獲量が減少し、漁業が成り立たないような不漁となっており、その傾向は令和7年も続きました。

(1) ワカサギ

ワカサギは、解禁当初からほとんど漁獲されませんでした(図2(1))。

(2) シラウオ

シラウオ漁のCPUEは3.5~1.4kg/時間・隻で推移し、過去5年の平均とほぼ同様な状態で推移しました(図2(2))。

(3) テナガエビ

テナガエビ漁は全体的には少なかったものの、8月から9月にかけて数隻が着業し、15kg/時間・隻前後の漁獲がありました(図2(3))。

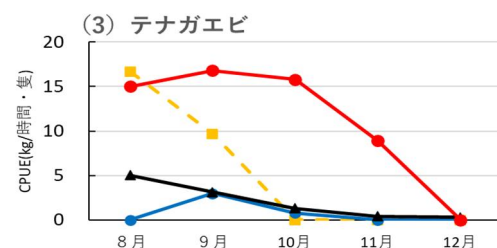
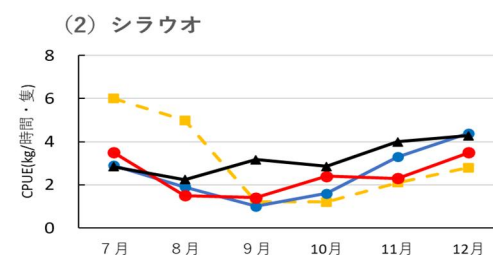
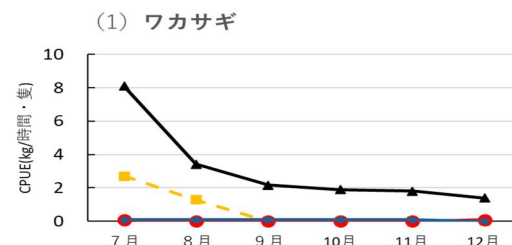


図2 北浦における単位漁獲努力量あたり漁獲量

シラウオの産卵について

茨城県水産試験場
内水面支場

近年のワカサギの不漁により、トロール漁業はシラウオに依存した操業となっています。水産試験場では重要な資源であるシラウオの生態を理解するために、令和6年の産卵期からシラウオの産卵場の調査を行っています。

産卵場調査は、これまでの調査によりシラウオの産卵が確認されている稲敷市浮島地先の浅瀬の砂浜水域に設定し、1月末から5月にかけて、水深1m付近の水域において湖底の砂を採取して卵の分布状況を調べています(図1、2)。

3カ年の調査の結果、シラウオの卵は1月下旬から4月下旬までの期間に確認され、盛期は年によりずれがありますが、おおむね3月が産卵期の中心となることがわかりました(図3)。3カ年の卵の分布量を比べると、令和6、7年は1㎡当たり最高で2万粒でしたが、令和8年は10万粒と約5倍になっていました。年により産卵の盛期、産卵数の違いがありますが、トロール漁業の重要魚種であるシラウオの資源を持続的に維持していくために、親魚を大切にすること、卵を産む浅瀬の環境を保全・維持していくが大切であると考えられます。

卵からふ化、さらに成長して7月のトロール漁開始までにどの程度生き残るかが、シラウオの漁模様を左右します。水産試験場ではどのような要因がシラウオの生き残りに関係してくるかを調べていきたいと思っています。



図1 シラウオの産卵場調査を実施した浮島地先湖岸と採取した砂

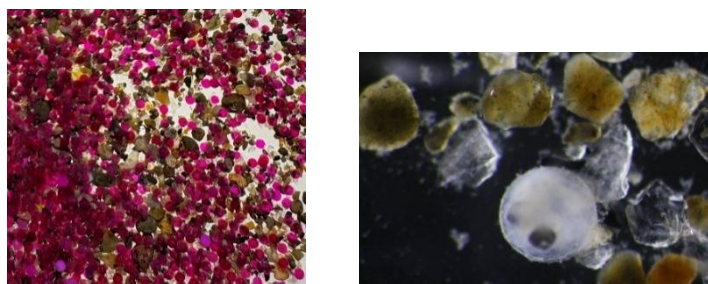


図2 砂の中から抜き出したシラウオの卵とふ化直前の卵(左の卵は赤い色素で染色してあります)

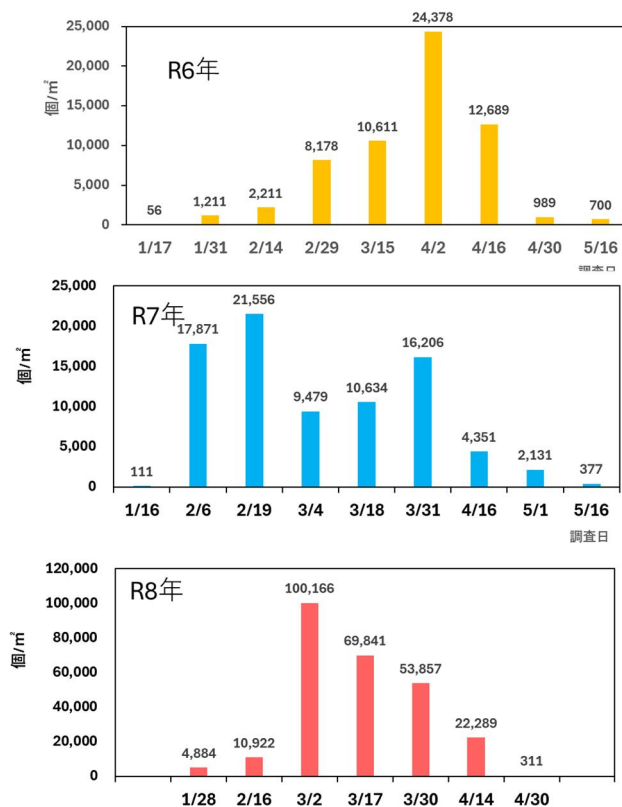


図3 3カ年の調査でのシラウオ卵の分布状況

霞ヶ浦北浦の漁業振興策について

茨城県霞ヶ浦北浦水産事務所 振興課

近年のワカサギ等主要魚種の不漁に対し、茨城県等では、「主要魚種の資源回復を図りつつ、将来的な環境リスクへの備えとして、厳しい環境下でも収益を生み出せる漁業生産構造への転換」を進めております。今年度、茨城県等が取り組む事業について、ご紹介いたします。

■ 表 令和8年度に取り組む霞ヶ浦北浦の漁業振興策

項目	事業名等 (括) は拡充事業)	予算額 (千円)	内容
1 主要魚種の資源回復対策			
(1) 資源維持対策			
	ワカサギ人工ふ化事業 (水産振興協議会予算)	3,968 (うち一部)	霞ヶ浦北浦において漁業者が実施するわかさぎ人工ふ化事業に助成
(2) 漁場環境の改善			
	漁場環境保全創造事業費	98,000	水生植物帯造成による湖岸環境の再生(行方市宇崎地先(消波工))
		60,000	既存の水生植物帯施設の機能保全工事(行方市矢幡地先(工事))
	括) 漁業による水質浄化機能促進事業費	17,739	未利用魚の回収による湖内からの栄養塩の除去(計画数量: 霞ヶ浦 279.4 トン、北浦 63.6 トン)
	括) 水産多面的機能強化対策事業費	14,297	霞ヶ浦北浦におけるヨシ帯の保全や底層環境改善に向けた湖底耕耘を実施
(3) 不漁要因に関する研究			
	霞ヶ浦北浦主要水産物の生態に及ぼす影響解明研究事業費	2,500	霞ヶ浦北浦の主要水産物の生態に影響を与えている要因の評価・解明
2 環境変動に左右されない収益源の創出			
(1) 水産物の付加価値向上対策			
	県産シラス競争力強化対策事業費	—	「暁のしらうお」の生産・PR 支援(既存予算にて対応)
	括) 未利用魚有効活用促進事業費	13,910	未利用魚(アメリカマス)の原料供給能力の強化、食材としての利用促進・認知度向上
(2) 天然ウナギ資源の増大対策			
	内水面資源動態研究費	2,422 (うち一部)	常陸川水門におけるシラスウナギ遡上拡大試験(閘門の活用の検討)
	括) 霞ヶ浦北浦ウナギ資源増大対策事業費	52,434	放流用シラスウナギの購入経費の補助。ウナギ稚魚の育成放流試験による資源増大効果の実証
	再掲) 水産多面的機能強化対策事業費	5,805	霞ヶ浦北浦における希少種放流(ウナギ)を実施
(3) 新たな増養殖魚種の導入対策			
	「いばらきの養殖産業」創出・育成事業費	9,000	「養殖や蓄養に取り組むための経費」や「新魚種や ICT 導入など事業拡大を図るための経費」への補助
		2,500	県産キャビアの市場づくり 「霞ヶ浦キャビア」のプロモーションを実施
3 その他の対策			
(1) コイ養殖業の振興			
	増養殖魚種調査検討費	1,018 (うち一部)	魚体に対する暑熱ストレス影響の評価及び対策の検討等
(2) 新規就業者対策			
	括) 経営体育成総合支援事業(国の長期研修支援事業)	11,844	就業希望者の漁業現場での長期研修を支援

霞ヶ浦北浦海区漁業調整委員会・茨城県海面利用協議会

霞ヶ浦北浦海区漁業調整委員会事務局

◆第23期霞ヶ浦北浦海区漁業調整委員会

令和7年度は、4月25日の第568回委員会から1月14日の第573回委員会まで計6回開催し、知事許可漁業の制限措置等（取り扱い方針の改正、いさざ・ごろひき網漁業の操業期間の見直し等）や、うなぎ筒漁業に係る委員会指示について、協議や意見交換を行いました。

また、10月24日には、ひたちなか市において研修会を開催し、那珂湊漁港内のマサバ養殖施設や茨城県水産試験場を視察しました。研修の内容は、マサバのICT養殖、未利用魚の加工利用、深海性エビの養殖技術開発等であり、県が取り組んでいる事業に関係するものとなっております。特に、未利用魚の加工利用については霞ヶ浦北浦に直接関係する内容であり、参加した委員は高い関心をもって聴講しておりました。

第23期霞ヶ浦北浦海区漁業調整委員会委員（議席順）

漁業者委員	◎鈴木 幸雄	学識経験委員	菅澤 英子
漁業者委員	○海老澤武美	漁業者委員	小原 一八
漁業者委員	坂本 隆夫	漁業者委員	大崎 匠
学識経験委員	古家 晴美	漁業者委員	樽見 由紀
中立委員	石本 恵子	中立委員	戸田 弘美
中立委員	山口 晴代	漁業者委員	中泉 義美

◎=会長 ○=会長代理



マサバ養殖施設視察中の様子

◆第16期茨城県海面利用協議会霞ヶ浦北浦海区部会

令和7年度は、11月14日に茨城県海面利用協議会と併せて開催され、霞ヶ浦北浦における湖面利用に関する課題への対応や漁業と遊漁等の現状等に関する協議が行われました。

第16期茨城県海面利用協議会 霞ヶ浦北浦海区部会委員（議席順）

学識経験	◎中村 丈夫	漁業関係	伊藤 一郎	遊漁関係	三村 陽子
学識経験	○清水 康	漁業関係	菅谷 美尚	◎=部会長 ○=部会長代理	
遊漁関係	赤津 友海	海洋性レク関係	高野 利夫		

受賞おめでとうございます!!

～令和7年度 茨城県水産製品品評会～

令和7年11月12日に開催された令和7年度茨城県水産製品品評会において、数多くの出品の中から農林水産大臣賞を受賞したのは、霞ヶ浦北浦水産加工業協同組合霞ヶ浦支部に所属する（有）原田水産の「白魚佃煮紅白」です。この商品は霞ヶ浦で漁獲された高鮮度なシラウオを鮮度落ちしないうちに、新たに取得した特許製法によって丁寧に炊きあげられたものであり、臭みがなく誰にでも受け入れやすい製品に仕上げられています。また、着色料を一切使わず、透明感のある淡い紅白が見た目にも美しく、おめでたい席にも合う一品となっています。

表彰式は令和7年12月12日、水戸プラザホテルにおいて行われ、賞状と記念品が授与されました。

なお、各賞の受賞者は次ページ一覧表のとおりです。



品評会の様子

令和7年度茨城県水産製品品評会受賞者名簿（霞ヶ浦北浦部門）

区分	品名	受賞者名	支部名
農林水産大臣賞	白魚佃煮紅白	(有)原田水産 取締役社長 原田 静男	霞ヶ浦
水産庁長官賞	浅炊きつづ貝	ツカサ食品(株)	かすみがうら市
	白魚佃煮	辺田商店 邊田 和夫	北 浦
茨城県知事賞	くるみ白魚	貝塚忠三郎商店	かすみがうら市
	白魚煮干	相川水産 相川 武士	北 浦
	わかさぎ甘露煮	永作光商店 永作 行伸	霞ヶ浦
茨城県議会議長賞	ふなうま煮	(有)富田商店	湖 南
大日本水産会長賞	しそ昆布	小松屋食品(株)	土 浦
全国水産加工業協同組合連合会長賞	小海老佃煮	篠塚商店	霞ヶ浦
茨城県農林水産部長賞	霞ヶ浦産白魚干し	(株)島田商店	かすみがうら市
	ふな甘露煮	片波見商店 片波見 等	霞ヶ浦
	えび佃煮	海老澤商店 海老澤 正之	北 浦
	ちりめんくるみ	箕輪名産店	土 浦
茨城県加工連会長賞	しらうお生姜佃煮	(株)中村商店	かすみがうら市
	えび醤油煮	大輪水産 大輪 茂七	霞ヶ浦
	えび佃煮	辺田商店 辺田 清孝	北 浦
	あみ佃煮	伊藤商店 伊藤 義男	湖 南
霞ヶ浦北浦水産振興協議会長賞	あみ佃煮	(有)やまと水産	かすみがうら市
	わかさぎ佃煮	さくらや本店 櫻井 千章	霞ヶ浦
	あさり佃煮	河野水産 河野 律子	北 浦
	公魚甘露煮	山下川魚店 山下 一夫	湖 南
	ちりめんくるみ佃煮	(有)田中屋川魚店	土 浦
茨城県水産物開発普及協会会長賞	はぜ佃煮	(株)安部	かすみがうら市
	鯉こく(2人前)	コモリ食品 小森 喜幸	北 浦



農林水産大臣賞
「白魚佃煮紅白」



原田水産 原田 静男 氏

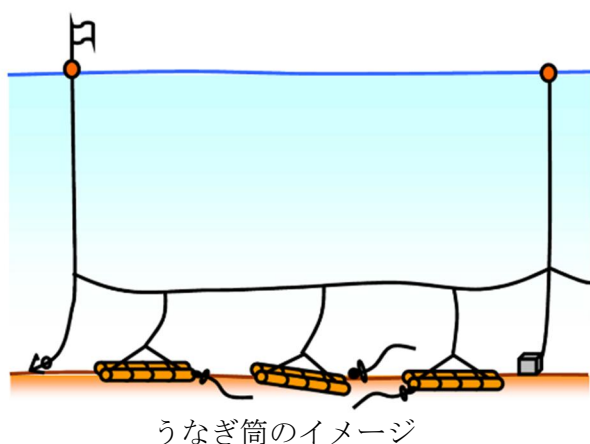
気候変動に適応した霞ヶ浦北浦の漁業制度の改革

茨城県霞ヶ浦北浦水産事務所 漁業調整課

◆うなぎ筒漁業の承認漁業化（委員会指示）

霞ヶ浦北浦におけるウナギの主要漁法であるうなぎ筒漁業は、これまで自由漁業（組合承認）として操業されてきましたが、令和8年4月から承認漁業（漁業調整委員会指示に基づく承認）になりました。これにより、操業時の公的な制限条件（うなぎ筒の設置上限数、操業区域、承認番号表示など）が新たに設けられました。

地球温暖化が進行するなか、高水温に強いウナギは霞ヶ浦北浦の重要な資源となっています。ウナギについてはこれまでに、県・関係漁協による種苗放流や稚魚（シラスウナギ）の遡上拡大試験を実施してきました。一方で、自由漁業としてのうなぎ筒漁業は漁獲実績報告が義務化されておらず、漁獲実態や放流効果の把握が十分ではありませんでした。今回の承認漁業化に伴い漁獲実績報告が義務化されたことで、資源管理の第一歩として、漁獲状況や操業実態の把握が図られます。



◆いさざ・ごろひき網漁業（横ひき）操業期間の見直し

近年、温暖化に伴う高水温等によりワカサギ資源が激減するなか、平均的に安定した漁獲があるシラウオ資源の維持増大は極めて重要です。

シラウオは産卵期である3月が禁漁期となっていますが、近年、エビなどを狙った3月の横ひきの操業においてシラウオの混獲が問題となっていました。

このため、3月におけるシラウオ採捕禁止と資源保護の徹底に向け、漁業者の理解のもと令和8年2月末のいさざ・ごろひき網漁業許可一斉更新において操業期間の見直しを行い、操業期間から3月を除外しました。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
従来 (~R7)	←→		←→									
見直し後 (R8~)	←→		(除外)	←→								

【操業期間】 従来（～R7）：3/1～翌年1/20 → 見直し後（R8～）：4/1～翌年1/20

有効期間満了に伴う知事許可漁業の申請手続について

令和8年度は、しらうおさし網漁業、雑魚さし網漁業、つけ漁業について有効期間満了に伴う許可申請手続が予定されています。当該漁業許可に係る制限措置及び許可申請期間が事前に公示されますので、許可申請を予定される方は、所属漁協からのお知らせ等にご注意ください。

また、県では一斉更新に限らず、新規着業や漁業経営の多角化に向けた新たな許可申請の希望に対し、毎年1回程度の許可の発給を行っています。着業等に伴う新たな知事許可漁業の申請希望につきましては、各所属の漁協にお問い合わせください。

表 知事許可漁業の有効期間

漁業種類	許可有効期間
しらうおさし網	令和3年9月1日～令和8年8月31日
雑魚さし網	令和4年1月1日～令和8年12月31日
つけ(おだ、笹浸、その他つけ)	令和4年3月25日～令和9年3月24日
わかさぎ・しらうおひき網	令和4年7月21日～令和9年7月20日
ます網	令和4年7月28日～令和9年7月27日
いさぎ・ごろひき網	令和8年3月1日～令和13月2月28日

漁船検認に関するお知らせ事項

●漁船検認とは・・・

漁船検認とは、漁船法第13条の規定に基づき、漁船登録票の記載内容と実際の漁船が一致しているか定期的(5年ごと)に検査を行うもので、次の(1)～(3)に不備があると受検できませんのでご注意ください。

- (1) 漁船登録票(登録票が見つからない場合、所有者・使用者の住所氏名等に変更がある場合、機関換装を行った後に登録変更をしていない場合は、受検に間に合うよう登録票の再交付や変更登録を済ませておいてください。)
- (2) 推進機関(盗難防止等のために船外機を取り外してある場合は受検場所まで持って来てください。また、船内機船・船内外機船は、当日機関室の中を確認できるようにしておいてください。)
- (3) 漁船登録番号および船名の表示(かすれて見えないような場合は、はっきり見えるようにしておいてください。)

なお、船体の破損や著しい劣化により使用不可能と判断される場合は検認を受けられませんので、適正な措置(修繕若しくは登録抹消手続)を行ってください。

●令和8年度の漁船検認について

令和8年度の実施予定は76隻で、令和3年度に検認又は登録を行った漁船が対象となります。

検認の時期等につきましては、所属漁協を通じてお知らせいたしますので、受検漏れが発生しないようお願いいたします。

水産物における放射性物質の検査結果等について

令和8年4月1日現在

品目名	採取 水域	令和7年度検査結果 (Bq/kg)				令和6年度検査結果 (Bq/kg)				
		検体数	平均	最大(採取日)	最小	検体数	平均	最大	最小	
アメリカナマズ	西浦	2	9.8	13	8/18	6.7	2	16	18	13
	北浦	1	9.5	9.5	7/1	9.5				
ワカサギ	西浦	1	N.D.	N.D.	7/2	N.D.	1	N.D.	N.D.	N.D.
	北浦									
シラウオ	西浦	1	N.D.	N.D.	7/2	N.D.	1	N.D.	N.D.	N.D.
	北浦	1	N.D.	N.D.	6/27	N.D.	1	3.2	3.2	3.2
テナガエビ	西浦	2	N.D.	N.D.	9/16	N.D.	1	4.0	4.0	4.0
	北浦	2	N.D.	N.D.	10/9	N.D.				
養殖	アメリカナマズ	西浦					1	N.D.	N.D.	N.D.
	コイ	西浦					1	N.D.	N.D.	N.D.
		北浦						1	N.D.	N.D.

注) N.D. : 検出限界値未満
北浦 : 外浪逆浦を含む

令和8年度 茨城県水産機関担当者一覧(所属長等)

所属組織名称	役職名	氏名
霞ヶ浦北浦水産事務所	所 長	武 士 和 良
	漁業調整課長	富 永 佳 子 (新)
	振 興 課 長	所 史 隆
	指 導 課 長	荒 井 将 人 (新)
	主査兼支所長	星 野 尚 重
水産試験場内水面支場	技佐兼支場長	久保田 次 郎 (新)
	首席研究員兼 内水面資源部長	半 澤 浩 美
	増 養 殖 部 長	丹 羽 晋 太 郎
霞ヶ浦北浦海区漁業調整委員会	技佐兼事務局長	杉 浦 仁 治 (新)